

Title	Clinical benefits of using inulin clearance and cystatin C for determining glomerular filtration rate in HIV-1-infected individuals treated with dolutegravir
Author(s)	湯川, 理己
Citation	大阪大学, 2018, 博士論文
Version Type	
URL	https://hdl.handle.net/11094/70667
rights	
Note	やむを得ない事由があると学位審査研究科が承認したため、全文に代えてその内容の要約を公開しています。全文のご利用をご希望の場合は、 〈a href="https://www.library.osaka-u.ac.jp/thesis/#closed"〉 大阪大学の博士論文について 〈/a〉 をご参照ください。

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

論文審査の結果の要旨及び担当者

(申請者氏名) 湯川 理己		湯川 理己
論文審査担当者	(職)	氏 名
	主 査	^掛 大阪大学教授 白坂 琢磨
	副 査	大阪大学教授 朝野 和哉
	副 査	大阪大学教授 緒坂 善隆
論文審査の結果の要旨		
<p>〔目的(Purpose)〕 ドルテグラビル (DTG) は、尿細管クレアチニン (Cre) 分泌チャネルを阻害し、血清Cre値の上昇が生じる。我々は、実測系球体濾過量 (GFR) としてイヌリンクリアランス (Cin) を測定し、Cin・クレアチンクリアランス (Ccr)・血清Cre値を用いた推定GFR (eGFRcre)・血清シスタチンC値 (CysC) を用いた推定GFR (eGFRcys) の有用性につき検討した。</p>		
<p>〔方法ならびに成績(Methods/Results)〕 方法；ウイルス量が検出感度未満にコントロールされた日本人のHIV-1感染者で、抗HIV薬を他剤からDTGに変更したものを対象とした。eGFRcreとeGFRcys値を0週と48週で比較検討し、また文書同意を得られたものに対し、CinとCcrを施行した。Cin、Ccr、eGFRcre、eGFRcysについて正確さやバイアス等を検討した。</p>		
<p>結果；血清CysC値とeGFRcysについて、0週と48週での有意差は認められなかった (n=108, Study1)。eGFRcreの正確さは、eGFRcysやCcrと比べ低く、eGFRcysは、eGFRcreやCcrと比べバイアスが少なかった。CinとeGFRcysには有意差は認められなかった (n=15, Study2)。</p>		
<p>〔総括(Conclusion)〕 血清CysC値とeGFRcysについて、0週と48週での有意差は認められなかった (n=108, Study1)。eGFRcreの正確さは、eGFRcysやCcrと比べ低く、eGFRcysは、eGFRcreやCcrと比べバイアスが少なかった。CinとeGFRcysには有意差は認められなかった (n=15, Study2)。</p>		
<p>評価；博士 (医学) の学位授与に値する。</p>		

論文内容の要旨

Synopsis of Thesis

氏名 Name	湯川 理己
論文題名 Title	Clinical benefits of using inulin clearance and cystatin C for determining glomerular filtration rate in HIV-1-infected individuals treated with dolutegravir (ドルテグラビル内服中の HIV-1 感染者における糸球体濾過量 (GFR) を決定する上でのイヌリンクリアランスとシスタチンCの臨床的有用性)
論文内容の要旨	
<p>〔目的(Purpose)〕 ドルテグラビル (DTG) は、尿細管クレアチニン (Cre) 分泌チャネルを阻害し、血清Cre値の上昇が生じる。我々は、実測糸球体濾過量 (GFR) としてイヌリンクリアランス (Cin) を測定し、Cin・クレアチニンクリアランス (Ccr)・血清Cre値を用いた推定GFR (eGFRcre)・血清シスタチンC値 (CysC) を用いた推定GFR (eGFRcys) の有用性につき検討した。</p> <p>〔方法ならびに成績(Methods/Results)〕 方法；ウイルス量が検出感度未満にコントロールされた日本人の HIV-1 感染者で、抗 HIV 薬を他剤から DTG に変更したものを対象とした。eGFRcre と eGFRcys 値を 0 週と 48 週で比較検討し、また文書同意を得られたものに対し、Cin と Ccr を施行した。Cin, Ccr, eGFRcre, eGFRcys について正確さやバイアス等を検討した。</p> <p>結果；血清CysC値と eGFRcys について、0 週と 48 週での有意差は認められなかった (n=108, Study1)。eGFRcre の正確さは、eGFRcys や Ccr と比べ低く、eGFRcys は、eGFRcre や Ccr と比べバイアスが少なかった。Cin と eGFRcys には有意差は認められなかった (n=15, Study2)。</p> <p>〔総括(Conclusion)〕 血清CysC値と eGFRcys について、0 週と 48 週での有意差は認められなかった (n=108, Study1)。eGFRcre の正確さは、eGFRcys や Ccr と比べ低く、eGFRcys は、eGFRcre や Ccr と比べバイアスが少なかった。Cin と eGFRcys には有意差は認められなかった (n=15, Study2)。</p>	